

PHP概要

PHPで何ができるの？

CMS (WordPress)

ECShop (EC-CUBE)

SNS (OpenPene)

ショッピングカート

メールフォーム

フォーラム・BBS

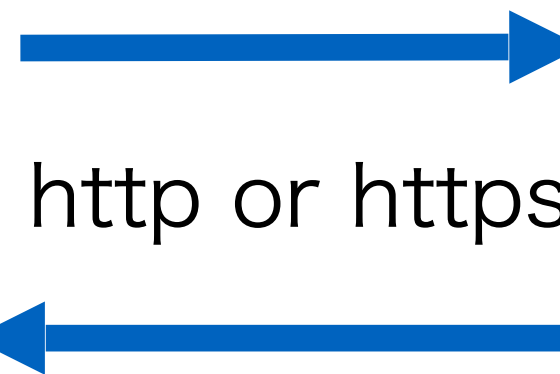
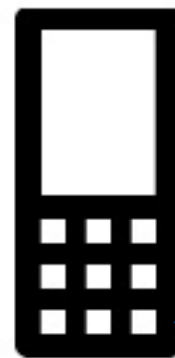


WEBの様々なサービスで使われています。

クライアントとサーバサイドとは

【クライアントサイド】

HTML, CSS, JavaScript
ブラウザ(PC)上で動作



【サーバサイド】

PHP, Perl, Ruby, Python

サーバ上でのみ動作

サーバサイド言語の選択

- Webのサービスはサーバサイドができれば、
- ほとんどのWebサービスは作成できます。
- なぜPHPなのか？
- PHPは他の言語と違い、Web専用言語です。その為、Webアプリを作る上で必要な関数が沢山揃ってるのが特徴です。初学者でも、早く習得できるサーバサイド”言語”はPHPがNo1でしょう！
- PHPができる = 作りたいWebサービスが早く作れる

■ 構造がシンプルである

- PHPは、Web専門言語としてメジャーであり、サーバサイドに使用する関数が豊富にそろっている状態なので、必要な関数を並べて組んでいけば良いというシンプルな構造。

■ 短期間で完成形を見ることができる

- JavaではまずObject（概念）を理解しないといけないが、難しい定義を覚えるだけでは、全体像が見えてこないというデメリットがある。一方、PHPは1日触ってみるだけでWebアンケートフォームのような簡単な成果物を作ることにもできる、短期間でWebのイロハを学ぶことができる。

■ ロジックを理解しながらコードが書けるようになる

- PHPでのコーディングは自分で手を動かす量自体が多いので、大変な一方プログラミングのロジック・処理を理解しながら書き進めることができる。各種フレームワークをはじめに覚えるよりも、基礎を理解しやすいのが特徴だ。この「基礎」は、後々他の言語を学ぶ時にも役立つという。

■ コードを即時反映できる

- PHPは書いたコードをサーバにアップロードするとすぐに動作を確認することができるため、トライ＆エラーを繰り返しながら学習できる。

■ セキュリティ対策の基本を学べる

- 既存のフレームワークを使えば、Webプログラミングでのセキュリティ対策を意識せずに作ることができる一方で、Webアプリケーションを作っていくに必要なセキュリティ知識が身に付かないというデメリットも。PHPで学ぶ場合には、自身でセキュリティを考慮してコードを書く必要があるため、他の言語で学ぶよりセキュリティに対する基本知識が身に付きやすい。